



商工組合だより

第 560 号

組合員数 52 社

8 年 / 2 月号

おもな内容

- ◆再資源化事業等高度化法の活用… 1
- ◆議会だより…………… 2
- ◆組合だより…………… 2
- ◆CFCだより…………… 4
- ◆その他…………… 4
- ◆市中相場…………… 5
- ◆在庫量推移表…………… 6

発行

中部製紙原料商工組合

名古屋市中区名駅三丁目25番9号
堀内ビル7階

TEL(052)581-5987 FAX(052)581-6943
<https://www.chubusyoso.jp>

再資源化事業等高度化法の活用

伊藤 裕

資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律（再資源化事業等高度化法）が令和 7 年 11 月 21 日に全面施行となりました。この法律で注目すべき点は、循環経済につながるような取組みかどうか国が審査して認定を行う制度（認定制度）が創設されたことだと思います。認定事業になれば、廃棄物の収集運搬、廃棄物処理施設の設置について、許可が不要となる特例が設けられました。法律の目的、概要等の詳細は環境省のホームページに記載しておりますのでご参照ください。

本稿では、これまで廃掃法に抵触する、費用負担の仕組みがない、などの理由で取り組むことができなかった古紙の再資源化事業をこの認定制度を活用して、取り組めるようにする試みについて石川理事長の発案に基づきご紹介させていただきます。

その新たな再資源化事業とは「全ての紙製容器包装（食品残さは排出段階で洗い流す）と雑がみ」を新たな古紙の品目として、現状の集団資源回収、自治体回収などのルートで回収して資源化するという取組みです。回収された古紙は古紙問屋で、①製紙原料にならない紙製容器包装（禁忌品）とそれ以外の②製紙原料（雑がみ）に選別して、①は RPF 製造会社・難処理古紙利用製紙会社等へ、②は通常の製紙原料として製紙会社へ供給して再資源化するという流れです。選別・圧縮・梱包・保管に係る費用、再商品化に係る費用を、容り法の仕組み（容器包装に関わる事業者が再資源化の費用を負担する仕組み）を応用して捻出できれば、費用負担の問題もなくなります。雑がみの掘り起こしとその資源化は古紙業界の喫緊の課題で業界の行く末を左右する大きな取組みです。もしこの試みが現実となり広がりを見せれば画期的な取組みになる可能性があるのではないのでしょうか。

この取組みは次のとおり、複数の課題を同時

に解決することが期待されます。

- ・紙製容器包装に禁忌品（廃棄物）が含まれていることで、これまで許可無しで収集運搬ができなかったが、認定事業になれば、全国の集団資源回収で「紙製容器包装・雑がみ」という分別区分で一斉に回収を進めることができるようになる。自治体で古紙を回収している場合、一品目増やすだけで新たな費用負担なしにすぐに取り組むことが可能となる。

- ・これまで、雑がみ回収をしている自治体、集団資源回収では、紙製容器包装の内、製紙原料にならないものは除いてください、というルールを設けるのが一般的だが、それが排出者にとって煩雑で分別回収が進まない理由であったと考えられる。紙製容器包装は全部OKとなればシンプルになり紙製容器包装識別マークを最大限活用することにつながる。

- ・容り法の紙製容器包装の再商品化は十分に広がっていないが、認定事業となることで容り法の仕組みがその法律の枠外ではあるが最大限に活用（特定事業者が再資源化の費用を負担する仕組み、ほとんどすべての紙製容器包装に印刷されている紙製容器包装識別マークの最大限活用など）され、循環経済への移行に多大な寄与をすることになる。

- ・古紙業界としては雑がみの掘り起こしと、これまで廃棄物であった禁忌品を適正な選別費用の支給を受けて資源化していく画期的な取組みが実現する。

実現するためには、関係各所へ理解と協力を求め賛同を得ていくことが最初のステップとなります。全原連では石川理事長をリーダーに検討組織を立ち上げることになっており、同時に関係各所への理解と協力を求めていく準備をすすめているところです。

運用面等で多くの課題がありますが、古紙業界の新たな 1 ページになることを期待しています。

議会だより

1月14日 第10回役員会 於ホテルメルパルク名古屋4階「葵」 午後2時30分より開催

出席者＝石川理事長、国本副理事長、神山副理事長、河村専務理事、伊藤、奥村、篠田、塚本、中村、藤澤、各理事。安井監事。オブザーバー参加：丹治雅之、永井雅大、鈴木雄樹。以上理事10名、監事1名、オブザーバー3名、計14名

＜報告事項＞

1 全原連の件

*次回理事会の日程(2/24午後1時～)の報告がなされた。

*1月7日に実施した紙製容器包装リサイクル推進協議会(紙R推協)との意見交換会の報告がなされた。そのことに関連して次のとおり報告があり、承認がなされた。

- ・古紙センター、紙R推協、日本製紙連合会、全原連で協議体を設置する方向で調整を行う。
- ・本件に関しては、全原連の窓口は石川理事長、事務局サポートを伊藤理事が担う。

2 古紙センターの件

*次回業務委員会の日程(1/22午後1時30分～)の報告がなされた。

*12月18日に開催された家庭紙委員会の次第・議事要旨が配布され、報告がなされた。

*1月7日に開催された新年互例会の報告がなされた。

3 各支部会・各委員会・CFC報告の件

*支部会、委員会報告はなかった。

*次のとおりCFCに係る報告がなされた。

- ・2月9日に予定通り海外研修(ニュージーランド、参加4名)を実施する。

- ・4月9日に通常総会を開催する(賦課金を3千円増額する予定)。

- ・7月15日にサイプレスガーデンホテルで六地区懇談会を開催する。

4 会計報告の件

月次損益計算書、貸借対照表が配布され12月度の会計報告がなされた。

5 その他

紙業合同新年互例会(1/5)について報告がなされた。

＜審議事項＞

1 合同新春講習会・互礼会について(役割、出席者等についての最終確認)

原案通り確認がなされた。

2 雑がみ回収促進に向けた啓発活動(名古屋市)に関する協定書案等について

原案通り承認がなされた(3月には名古屋市と協定を結ぶよう進めていく)。

3 三紙会資料「原価構成と費用(コスト)および比率の推移」について

協議の結果、CFCで三紙会と同じ条件・方法で資料を作成してみる方向で検討することになった。また、できれば回収費用も明らかにできるとよい、という意見が出された。

4 令和8年度出前授業講師推薦等の依頼について

協議の結果次のとおり承認がなされた。

- ・コロナのくだりは削除する。
- ・オプションとして「雑がみさまを探せ!」を提案することを加筆する。

5 新年互例会会費徴収について

次のとおり、説明があり、了承・承認がなされた。

- ・令和7年3月の役員会で令和8年1月の互例会より会費制にすることが決議されたが、従来通りの案内となってしまう。その結果、予算比で60-70万円程度の収入減となってしまう。

- ・令和9年1月の互例会より会費制にする(令和8年1月14日の互例会でアナウンスする)。

6 古紙輸出の件・市況交換・古紙価格調査票の件(第10回需給委員会と合同開催)

・輸出の概況及び現市況について報告がなされた。

- ・古紙価格調査票は原案どおり(前月より変動なし)承認がなされた。

- ・市況について活発に意見交換がなされた。

- ・1月は26日に入札を実施する旨報告がなされた。

7 その他

春日井支部の会計について確認をする必要がある旨、説明がなされた。

組合だより

【全原連関係】

1月15日 セーフティー+ 於全原連会議室(リモート併用) 参加者6名

＜議題＞

1 熱中症対策アンケートについて

2 事故・災害事例報告書について

3 その他/1.22新年会での報告、ほか

1月22日 全原連各委員会及び新年会開催於浅草ビューホテル

※IT推進委員会のみ全原連会議室で開催

■全原連各委員会

*正副理事長会 於3階「両国」 午後3時15分より開催 出席者＝11名

＜議題＞

1 再資源化事業等高度化法に係る認定制度の活用に向けて

2 古紙持ち去り禁止法令制定に関する動き

3 賦課金見直し検討委員会(仮称)の設置

*需給委員会 於4階「言門」午後3時より開催 出席者=8名

<議題>

- 1 各地区市況報告
- 2 雑誌品質、東京都ごみ有料化、ほか

*IT推進委員会 於全原連会議室 午後2時より開催 出席者15名(内株)WorkVision5名

<議題>

- 1 全原連ネット事業について
- 2 WorkVision2026年活動計画について
- 3 新商品(AI車番認証機能等)紹介、ほか

*涉外広報委員会 於3階「さくら」午後3時より開催 出席者=11名

<議題>

- 1 リカパー通信 No13について(企画会議)
- 2 50周年記念号について、ほか

*経営革新委員会 於3階「清洲」午後3時より開催 出席者=10名

<議題>

- 1 古紙の需給推移と業界の課題について
- 2 古紙リサイクルアドバイザーテキスト作成及びKRA運用について
- 3 令和8年度事業計画
- 4 その他(次回委員会日程、ほか)

■新年会 於3階「祥雲」午後5時より開催 参加者=115名

<式次第>敬称略 ()内は全原連役職名

- *司 会 中山淳一(事務局)
- *開会の辞 石川喜一郎(副理事長)
- *理事長挨拶 大久保信隆(理事長)
- *来賓祝辞

甘利 明 様 / 資源リサイクル推進議員連盟最高顧問
 土屋博史 様 / 経済産業省製造産業局素材産業課課長
 野沢 徹 様 / 日本製紙連合会会長

- *来賓紹介
- *乾 杯

長谷川一郎様 / (公財)古紙再生促進センター代表理事

*安全セーフティー+より熱中症アンケート結果の報告及び災害報告への協力依頼



壇上でアンケート結果を発表している
株エス・エヌ・テー篠田朋香さん(左)

- *中 締 め 岩瀬慶太(副理事長)
- *閉会の辞 藤川達郎 午後7時閉会

【古紙センター関係】

1月7日 (公財)古紙再生促進センター新年互例会 於経団連4階ダイヤモンドルーム(東京都千代田区大手町1-3-2) 午後1時より開催

1月14日 紙リサイクル出前授業 / 1 限目座学・2 限目紙すき体験 於尾西第三中学校(1年生1クラス31名) / 愛知県一宮市開明字村上 講師:国本剛・千田純子(一宮紙原料株)、新美壽通(古紙センター中部)

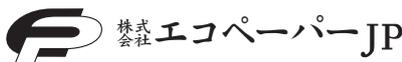
1月22日 令和7年度第8回業務委員会 於古紙センター会議室(リモート併用) 午後1時30分より開催

<議題>

- 1 古紙の需給・市況動向
- 2 令和8年1-6月の古紙消費計画
- 3 全国小中学生紙リサイクルコンテスト 2025について(審査会・表彰式日程ほか)
- 4 紙リサイクルコンテスト2025学校特別賞・学校奨励賞について
- 5 感熱性発泡紙に関する依頼文書送付

1月31日 紙リサイクル出前授業 / 前半:座学・後半:紙すき体験 於植田東小学校(植田東リサイクル推進会所属の小学1-6年生15名・保護者18名) / 名古屋市天白区 講師:渡邊啓太・花野純菜(株石川マテリアル)

中芯原紙・印刷用紙製造



代表取締役社長 堀 田 豊

〒488-0031
 愛知県尾張旭市晴丘町東82番地1
 TEL (0561) 53-3315
 FAX (0561) 53-3362
<http://www.ecopaper.jp/>

段ボール原紙・白板紙・包装用紙
王子マテリア株式会社

本社 東京都中央区銀座5-12-8
 王子ホールディングス1号館6階
 〒104-0061 TEL (03) 3543-1111
 代表取締役社長 新藤 恵 悟

祖父江工場
 愛知県稲沢市祖父江町祖父江外平150
 〒495-8601 TEL (0587) 97-2111
 中津川工場
 岐阜県中津川市小川町2-3
 〒508-8585 TEL (0573) 66-1511
 恵那工場
 岐阜県恵那市大井町696
 〒509-7201 TEL (0573) 26-1611

出版・印刷用紙 事務用紙 包装用紙



取締役春日井工場長
渡 部 司

愛知県春日井市王子町1
 〒486-0834
 TEL (0568) 81-1111
 FAX (0568) 85-2056
<http://www.ojipaper.co.jp/>

CFCだより

1月14日 月例会 於ホテルメルパルク名古屋 4階「葵」 午後1時より開催 会員出席者：11名

<議題>

- 0 新春講習会・互礼会受付等について
- 1 六地区市況情報交換作成
- 2 中部商組役員会報告
- 3 六地区懇談会(7/5)名古屋開催について
- 4 海外研修について
- 5 通常総会(4/9)について
 - ・次第、役割等について
 - ・議案(賦課金金額)について、他
- 6 会計報告について

その他

1月5日 愛知県紙商組合紙業合同新年互礼会 於名古屋ガーデンパレス 3階(名古屋市中区) 午前9時30分より開催 当組合から石川理事長、服部副理事長が参加

1月14日 当組合・愛知県古紙協同組合合同新春講習会 於ホテルメルパルク名古屋 1階「輝」 午後4時30分より開催 参加者=89名

<講師(2名)及び演題>

*犬童 光一郎様 / (有)グローバルプランニング 企画営業部部长

演題：CO2排出量算定方法について

*森マーヴィン様 / (株)Zevero Japan CEO
演題：サプライチェーン(製紙業界)全体の排出量戦略等について

■講師所属会社連絡先等

★(有)グローバルプランニング

メッセージ：Scope1,2,3のCO2排出量を算定する古紙業界に特化したWeb自動計算ツール(自社開発)を通じて、サステナブル経営を支援します。

住所：東京都渋谷区初台2-9-14 メイゾン初台104

電話：03-5354-5585

メール：indo@globalplanning.jp

URL：http://www.globalplanning.jp

★(株)Zevero Japan

メッセージ：中堅企業が排出量を的確に管理し、持続可能な成長に向けた取り組みを加速できるように、体制・ツール・専門家による支援を提供します。

住所：東京都港区赤坂5-2-33 Isai Akasaka 1405室

担当：川西芳雄

電話：070-1450-7780

メール：yoshio.kawanishi@zevero.earth

URL：https://www.zevero.earth/ja

1月14日 当組合・愛知県古紙協同組合共催新年互礼会(協賛：(公財)古紙再生促進センター中部地区委員会) 於ホテルメルパルク名古屋2階「瑞雲東」 午後6時00分より開催 参加者121名 司会進行 中部ファイバークラブ(CFC)鈴木雄樹会長

<次第>

- 1 石川理事長年頭あいさつ



- 2 来賓祝辞

中部経済産業局 産業部 部長
柳原 和男様



環境にやさしい選択



TAIHO PAPER

大豊製紙株式会社

段ボール原紙 製造・販売
バイオマスエネルギー有効活用

代表取締役社長 工藤 健一

〒509-0302

岐阜県加茂郡川辺町上川辺252-1

TEL. 0574 (53) 2626

FAX. 0574 (53) 2629

http://taihopaper.jp



繊維リサイクルメーカー

DAIMEN

ダイメン

株式会社 大綿

〒496-0905

愛知県愛西市北一色町

東田面231番地

TEL (0567) 25-3700

FAX (0567) 25-3577

工業用ウエス製造販売
繊維原料/工業用資材
反毛原料/梱包資材/

株式会社 八三

〒480-0105

愛知県丹羽郡扶桑町南山名野田浦48

TEL (0587) 93-2995(代)

FAX (0587) 93-9700

公益財団法人古紙再生促進センター中部地区委員会副委員長・レンゴーパーパービジネス株式会社原料本部副部長
森脇 博高 様



3 来賓紹介

水越 昭雄 様 / 愛知県中小企業団体中央会事務局次長
齊藤 篤人 様 / 株式会社商工組合中央金庫東海・北陸地域統括執行役員名古屋支店長兼熱田支店長 ※齊藤様には「ESG 診断のご案内」のご説明をしていただきました。



齊藤篤人 様

4 乾杯 / 神山副理事長



5 祝宴

6 中締め・閉会の辞 / 服部副理事長



午後7時30分頃閉会

市 中 相 場

令和8年2月1日現在

ナマシ番線	ヤード着 (1kg)	143円~160円	
(10番)	平均価格	149.2円	気配→
軽油	店頭 (10)	126.8円~139円	
	平均価格	132.4円	気配↘
ガソリン	店頭 (10)	144円~154円	
	平均価格	149.8円	気配↘

* ガソリンのみ6社の提出データにて算出しております。

ベラー用古紙結束線

古 紙 結 び

コ シ ム ス ビ

株式会社 林 商 店

TEL 052(352)0884

FAX 052(353)0888

渡辺式大型高速古紙梱包機

渡辺鉄工株式会社

本社及工場 〒839-0841 福岡県久留米市御井旗崎二丁目25番25号
TEL(0942)43-9111(代)
東京営業所 〒333-0823 川口市大字石神695
TEL(048)290-4851
大阪営業所 〒570-0016 守口市大日東町27-7
TEL(06)6902-2338
名古屋営業所 〒452-0801 名古屋市西区清里町130番地
TEL(052)505-0411

在庫量推移表 (令和8年1月)

(単位:トン)

中部製紙原料商工組合

社数	36	36	36	36	35	35	35	35	35	35	35	35	35
年月	7年												8年
品名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
新聞	1,951	2,082	2,512	2,386	2,294	2,475	3,222	2,765	2,383	2,147	2,530	4,218	2,519
雑誌	5,212	3,869	5,047	7,151	7,337	4,849	4,542	3,868	2,051	2,388	2,857	6,435	4,572
段ボール	13,042	12,753	10,827	9,403	11,200	7,025	9,337	9,664	7,388	5,482	6,663	15,818	12,421
その他	5,464	5,686	5,696	5,918	5,807	5,746	5,671	5,781	5,590	5,068	5,353	6,508	4,249
合計	25,669	24,390	24,082	24,858	26,638	20,095	22,772	22,078	17,412	15,085	17,403	32,979	23,761
前月比	92	95	99	103	107	75	113	97	79	87	115	190	72
業/総	40	42	39	43	43	37	41	40	35	33	38	51	40
東海地区メーカー (愛知・岐阜) 5社7工場													
年月	7年												8年
品名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
新聞	108	73	93	80	94	130	116	112	89	94	64	119	192
	7,951	7,186	8,922	7,890	7,252	7,659	7,032	8,041	7,373	7,332	5,743	7,355	8,953
雑誌	68	51	51	43	53	38	32	35	37	34	38	49	75
	6,559	5,691	5,909	5,303	4,676	4,667	3,829	3,713	3,806	3,595	3,846	4,716	6,246
段ボール	40	29	26	22	37	26	26	31	30	24	25	25	29
	18,117	15,063	14,444	12,149	15,042	13,993	14,140	14,609	14,982	14,263	13,683	13,762	14,087
その他	6,561	6,112	8,290	7,539	7,735	7,281	7,294	6,709	6,246	5,170	5,010	6,368	6,306
合計	54	41	42	37	52	41	40	44	40	34	34	41	51
	39,188	34,052	37,565	32,881	34,705	33,600	32,295	33,072	32,407	30,360	28,282	32,201	35,592
前月比	118	87	110	88	106	97	96	102	98	94	93	114	111
メ/総	60	58	61	57	57	63	59	60	65	67	62	49	60
1月比	100	90	95	89	95	83	85	85	77	70	70	100	100
総在庫	64,857	58,442	61,647	57,739	61,343	53,695	55,067	55,150	49,819	45,445	45,685	65,180	59,353
前月比	106	90	105	94	106	88	103	100	90	91	101	143	91

メーカーの左枠内数量は在庫率、総在庫の左枠内数量は1月比指数 出所:メーカー統計は(公財)古紙再生促進センター

古紙圧縮梱包機



50年の実績と経験

株式会社 昭 和

〒134-0091 東京都江戸川区船堀2-23-21
 TEL (03) 3689-0303 FAX (03) 3689-0318
<http://www.showa-press.co.jp>
 東京・大阪・名古屋・福岡・三島・浦安・八街・徳山

各種コンベヤ・省力機械の創造をします



株式会社 拓己技研

〒444-0937
 愛知県岡崎市島坂町字川田5番地3
 TEL (0564) 64-3692 (代)
 FAX (0564) 64-3693
 E-mail: takumi-cv@leaf.ocn.ne.jp